

令和4年度 事業計画書

I. 基本理念

【使命】

医療と介護の切れ目のない連携を第一に考え、地域社会に安心を提供し続けます。

【基本方針】

私たちは、医療と介護のチームワークにより、皆様の満足を追求します。

私たちは「にのみやグループ」の一員として誇りを持ち、共に尊敬し合える組織を創ります。

私たちは、地域とのパートナーシップを大切に、その人がその人らしく生活できるよう支援していきます。

私たちは、知識と技術の研鑽と豊かな人間性の向上に努めます。

《基本スローガン》

元気で明るく家族とともに自立支援

～イキイキとした生活作りをお手伝いいたします。～

《令和4年スローガン》

“創り出そう 新たなハーモニー 踏み出す第一歩 なごみの郷”

II. 道標

法人の設立と介護保険事業開始から20年の節目が経過し、これまでの当法人の歴史と現在の世相状況をあらためて見つめなおす時がきている。人口減少と高齢化が進展し、コロナ禍の終息が見えない中、地域に密着した選ばれる法人へと成長し続け、ウィズコロナ、ポストコロナにもタイムリーに対応し続けた結果が今である。これを継続させるとともに、さらなる進化を目指さなければならない。

今期以降、新たな事業展開が視野に入るため、まずは現有の職員がそれぞれの能力を発揮し、エンゲージメント（組織に対する愛着心）を高めながら活躍できる法人となりたい。ついては、組織と職員の成長と拡大の好循環がなされ、誰ひとり取り残すことのない目配りの効いた法人運営により職員の定着を図る。そして雇用の安定を目指した福利厚生制度を維持し、新規雇用の安定確保を図る。また、デジタル・デバイド（インターネットやコンピューターを使える人と使えない人との間に生じる格差）を解消したITの積極的な活用、グリーン、デジタル、働き方、人材育成の在り方など、多様性と変化への柔軟な対応を行い、レジリエンス（困難な状況にも適応して生き延びる力）を持った将来に向けた人材を育成し、やりがいと利用者サービスを高められる働き方改革を後押しする。結果、サービス活動収支が安定的に黒字化された法人運営を継続していく。

これを21年目以降へ向けた節目のスタートとしたい。

III. 重点課題

① 人づくり（人財確保・定着・育成）

- ・ 新人事考課システム「RAT」のさらなる深化（職員自らの内発的な動機による目標の設定と、目標達成に対する努力を最大限支援することを基軸とした人事考課制度）
- ・ 公平そして納得できる評価実施による職員のモチベーションアップへの転嫁

- ・ 幅広い領域から、福祉分野で活躍できる「優秀な人材」を採用する競争力のアップ
 - ・ 入社後に高い意欲で業務邁進できる環境の整備（福利厚生制度の継続）
 - ・ 五つのクレドの周知（積陰徳、愛情家族、生涯現役、心の我が家、シンプル）
 - ・ 実習生の実習実施機関としてのクオリティー、及び派遣学校との連携の強化
 - ・ 成長のための人事異動
 - ・ 本人の自主性を尊重したマネジメント、制度の理解への教育（介護保険・社会保障）
 - ・ 医療知識（喀痰吸引実施者の増加）、アセッサーの育成、キャリア段位レベル認定者の育成、マネジメント研修（ガバナンスの強化）
 - ・ 女性の活躍推進
 - ・ 外国人雇用実績の進化
- ② 医療・介護の連携
- ・ ブランディング（看取り機能の質の向上）
 - ・ にのみや地域医療介護サポートセンターとの連携
 - ・ NPO 法人「地域医療・介護の連携を促進させる会」との連携
- ③ ウイズコロナ、ポストコロナへの対応
- ・ オンライン対応の進化（リモート面会、会議、連絡）
 - ・ 働き方改革：時間管理（出退勤及び残業時間管理）、人事労務管理の透明化、就業制度の充実（70歳前後まで働き続ける継続雇用延長・定年延長など）
 - ・ ITの積極的な活用
 - ・ HPのブログの毎日更新（地域・家族へ発信）
 - ・ テレワークの模索
- ④ 環境への配慮
- ・ グリーン社会の実現へむけた無駄の排除（食事、エネルギー）
 - ・ エコカーの導入（EV、HV、PHV）
 - ・ SDGsの積極的推進
- ⑤ 防災・減災への対応
- ・ 感染対策、自然災害対策 BCPの策定と進化
 - ・ 定期防災訓練の実施
- ⑥ ハード面の老朽化対応
- ・ 修繕とリニューアルの対応
 - ・ デジタル化への模索
- ⑦ 知識と技術の研鑽
- ・ 接遇、マナー、社会常識、アセスメント能力等のスキルアップ
- ⑧ 『にのみや』エンゲージメントの醸成
- ・ 情報共有、理念唱和の徹底
 - ・ あいあいねっとへの積極的な参画
- ⑨ 地域、及び家族との連携、その人らしさの追求
- ・ 拠点毎の町内会活動や地域活動への参画
 - ・ 近隣学校との福祉的連携
 - ・ 地域包括支援センターとの協働
 - ・ 季節や嗜好に応じたレクリエーションの活性化

IV. 将来構想

- ① 地域包括ケアシステムの中心的役割を担える法人となる
- ② 地域の「健康寿命の延伸」に寄与しながらも、重度化にも対応できる施設運営
- ③ 「医療・福祉の生産性向上」を図り、24 時間 365 日サービス提供